



Miura city council news

# みうら市議会だより

2021.11.1 第147号



- 令和2年度決算を認定
- 新型コロナ対策として一般質問の人数を調整
- 二町谷地区に設置される浮棧橋の管理等に関する議案を可決



総務経済

◎字の区域の変更について

本案は、三浦市南下浦町菊名樹園地土地改良事業における換地計画の策定に際して、換地に応じた字の区域の変更を行うものです。

(質疑は特にありませんでした)

◎令和三年度三浦市一般会計補正予算(第五号)

本補正は、歳入歳出それぞれ一億三十二万五千円を追加し、歳入歳出予算の総額を百七十六億六千五百二十二万円とするものです。

(質疑の主な項目)

- ・ 海業公社で制作する記念誌の活用方法について
- ・ 間口漁港の突堤の復旧工事について
- ・ 学校教育ビジョン見直しに向けたアンケートの手法について

質問 新型コロナウイルス

スワクチン接種に関する今後の見通しは。

**答弁** 現在、配分されているワクチンの予約枠は全て埋まっている状況だが、配分があり次第、接種の体制がとれるように、市医師会と調整している。



◎令和三年度三浦市市場事業特別会計補正予算(第一号)

本補正は、歳入歳出それぞれ千二百七十三万三千円を追加し、歳入歳出予算の総額を三億二千八百六十万円とするものです。

(質疑の主な項目)

- ・ 指定管理者選定の際の確認項目について
- ・ 施設周辺の駐車に関する対応について

質問 今回補正で行う市場施設管理事業の内容をお聞きしたい。

**答弁** 超低温魚市場冷蔵庫の冷凍マグロの搬入・搬出口にあるテーブルリフター一基が故障したの

で、修繕を行う。

◎三浦市二町谷浮棧橋案

例

◎指定管理者の指定について

以上二件は、二町谷浮棧橋第一号及び第二号の管理等に関し必要な事項を定め、二つの浮棧橋の指定管理者として、エスパシオミサキマリンリゾート株式会社を指定するものです。

(質疑の主な項目)

- ・ 指定管理者選定の際の確認項目について
- ・ 施設周辺の駐車に関する対応について

**質問** 浮棧橋の活用はいつ頃からされるのか。

**答弁** おおむね十月中旬に浮棧橋の設置工事が完了する。その後、市への寄附を受けてから管理・運営が進められる。

(質疑の主な項目)

- ・ 指定管理者の選定に当たって提案された内容を伺いたい。

**答弁** 三浦市からの雇用を優先することや、浮棧橋に船舶が入った際の仕

入れ等で地元企業を優先すること、地元企業との協業などが提案された。

入れ等で地元企業を優先すること、地元企業との協業などが提案された。



◎令和三年度三浦市一般会計補正予算(第六号)

本補正は、歳入歳出それぞれ二千五百三十二万二千円を追加し、歳入歳出予算の総額を百七十六億八千六百六十五万二千円とするものです。

(質疑の主な項目)

- ・ 今回の補正により行う事業の内容をお聞きする。

**答弁** 新型コロナウイルス

・ 感染拡大に対応し、市職員の分散勤務が継続する可能性がある。その中で、テレワークの推進が

感染拡大の防止や行政機能

能を維持することができると考え、モバイル用のパソコン八十台を購入する。

**質問** テレワークを行う際のデメリットの解消など、運用方法をお聞きしたい。

**答弁** 現在、試行をしてメリット、デメリットを取りまとめている。デメリットとして挙げられる、連絡の取りにくさや即時性といったコミュニケーションに関するツールは、関連するツールの活用で解消したい。



(そのほかの質疑項目)

- ・ テレワークを開始する予定時期について
- ・ テレワークを行う際の情報セキュリティについて

都市厚生

◎三浦市予防接種健康被害調査委員会条例

本案は、本市が実施する予防接種に起因する健康被害について調査・審議を行うための機関を設置するものです。

(質疑の主な項目)

- ・ 予防接種健康被害調査委員会の委員の選定について

**質問** 予防接種健康被害調査委員会の役割をお聞きしたい。

**答弁** 委員会は医学的見地からの調査を行って、市長に報告をする役割を持っている。そのほか、健康被害について判断するための資料収集や、特殊な検査に関する助言などを行う。



# 新たに提出された陳情

◎令和四年度における「重度障害者医療費助成制度継続」についての陳情

趣旨 本陳情は、令和四年度予算

の策定に際し、重度障害者医療費助成制度について、障害児者が負担なく医療を受けられるような施策を求めています。

◎令和四年度における「障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援」についての陳情

趣旨 本陳情は、令和四年度予算

の策定に際し、障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援を行う施策を求めています。

◎公共施設等総合管理計画の策定における、学校等の教育施設の扱いについて

趣旨 本陳情は、公共施設等総合

管理計画の推進に際し、学校施設等の面積をできるだけ削減しないよう、市に進言することを求めています。



## 陳情の審査結果

9月定例会で審査を終えた陳情は、次のとおりです。

所管委員会	件名	結果
都市厚生	令和4年度における「重度障害者医療費助成制度継続」についての陳情	了承できるもの
	令和4年度における「障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援」についての陳情	

## 人事

市長から、次の方々を任命・選任するための議案が提出され、いずれも原案のとおり同意することに決しました。

教育長

及川圭介氏

教育委員会委員

廣瀬牧実氏

公平委員会委員

大井清氏



### 議会だより第146号の訂正

9月1日発行のみうら市議会だよりの記事に誤りがありました。お詫びして訂正します。

6ページ3段目

【誤】第三十七普通科連隊

【正】第三十一普通科連隊

### 表紙写真の紹介



議長の草間です。

今回の写真は、十月四日に撮影しました二町谷北公園です。

二町谷地区については、これまで長年にわたり本市の最重要課題として位置付け、売却に向け取り組んだ結果、令和二年三月に事業者と多目的活用

事業用地の土地売買契約が締結されました。土地の売買価格は二十六億七千万円です。

用地活用プロジェクトの基本協定を結んだ株式会社安田造船所と、新たに事業に参画した興和株式会社が共同事業を実施していくことになりました。

今後は、ホテル、ヴィラ、コンドミニアム、商業施設等が建設される予定です。

二町谷北公園及び二町谷北護岸については、神奈川県から管理事務の委託を受けた本市から、エスパシオミサキマリリゾート株式会社が指定管理を受け、現在二町谷北公園の整備が行われております。

また、北側八十メートル、西側一〇五メートルの浮桟橋の設置工事も行われています。

議会としても今後の事業展開に期待しています。

# 令和2年度 歳入歳出決算を認定

## 決算審査特別委員会の審査から 一部抜粋

令和二年度の一般会計、企業会計を含む特別会計の決算認定議案は、七人の委員で構成する決算審査特別委員会で審査を行いました。

### 決算審査

#### 特別委員会

委員長	長島満理子
副委員長	溝川幸二
委員	蓮本一朗
	鈴木敏史
	石橋むつみ
	出口正雄
	神田眞弓

### 総括質疑

市政全般にわたり  
市長に質疑

**質問** 令和二年度の総括としての感想は。

**答弁** 感染症対策がメインになるが、首都圏にある三浦市の場合、都心との交流が頻繁にあることから、非常に神経をとがらせ、職員も多大な労力を費やして対策を講じてきた。これからも続く課題なので、市民にも協力を頂きながら、感染症対策を行いたい。

**質問** 市を代表するイベ

ントが相次いで延期、中止となったことに対する市長の思いは。

**答弁** ここ二年間、イベントの中止が続いている状況で、今後の再開については地元の皆さんとの連携が重要になる。賑わいのあるイベントを早く復活させたいが、コロナ対策を万全に行い、国の動きにも歩調を合わせながら取り組みたい。

**質問** 感染拡大に対応して、独自の経済対策を講じてきたことは、事業者から一定の評価があった。さらなる経済対策の実施は考えているか。

**答弁** 今後は必要に応じて関係業界と協議をしていきたい。特に観光や飲食の関係で苦しい状況にある事業者が多いと思うので、電子クーポン事業を早く実施したい。

**質問** 二町谷埋立地については、用地活用プロジェクトで事業者との土地売買契約が完了し、取組が進められているが、市長の思いは。

**答弁** 漁港地域の活用など、先駆的な取組をしてきているが、結果として債務が残っていることで、負の遺産があることを認識した上で取り組みたい。

## 令和2年度 各会計の決算状況

会計区分		歳入（収入）	歳出（支出）	差引額
一般会計		223億3,257万円	219億583万円	4億2,674万円
特別会計	国民健康保険事業	58億868万円	57億9,694万円	1,174万円
	後期高齢者医療事業	8億1,784万円	7億8,252万円	3,532万円
	介護保険事業	53億985万円	52億8,184万円	2,801万円
	市場事業	18億1,977万円	18億1,977万円	0円
	第三セクター等改革推進債償還事業	80億7,162万円	80億7,162万円	0円
	企業会計			
	病院事業	25億8,166万円	25億7,688万円	478万円
	水道事業	14億7,518万円	13億9,589万円	7,929万円
	公共下水道事業	10億3,574万円	9億9,778万円	3,796万円

※金額は1万円未満を切り捨て

# 一般会計

## 歳入

・ひとり親世帯支援のための補助金について

・二町谷の汚水処理施設使用料の収入が増加した理由について

**質問** 市民税収入が減少した理由をお聞きしたい。

**答弁** 個人市民税、法人市民税がともに減少している。個人市民税は、農業所得者の総所得金額の大幅な減少、法人市民税は、法人税割の税率引下げが要因と考えられる。

**歳出**

**総務費**

**質問** 三浦市民交流センターで開催されたイベントの特徴は。

**答弁** 市民交流センターまつりを開催したが、当日の密を回避できるように、オンライン方式を中心に分散開催で行った。

**民生費**

・福祉医療費助成の状況について

・コロナ禍における生活困窮の実態と支援について

**衛生費**

・高齢者等インフルエンザ予防接種で接種者数が増加した理由について

・資源物の処理量が減少した理由について

**農林水産業費**

・関東学院大学との連携による商品開発について

・漁業者に対する緊急経済対策交付金事業の成果について

**商工費**

・海水浴場を開設しなかった海岸でのパトロールについて

・みうらグルメチケットの利用状況について

## 土木費

・空き家の適切な管理と利活用について

・公園遊具の整備について

**消防費**

・災害資機材などの整備状況について

・防災行政無線設備を更にした効果について



## 教育費

・就学援助を受けた児童、生徒の割合について

・コロナ禍での海洋教育の取組について

**災害復旧費**

・休日や夜間等に災害復旧に当たる際の、市の体制について

# 特別会計

## 国民健康保険事業

**質問** 特定健診の受診率向上の取組として、令和二年度から自己負担額を

無償としたが、成果はどうか。

**答弁** 新型コロナウイルスの影響で、健診の開始時期の遅れや、定員を少なくしての実施、受診控えがあったが、昨年並みの受診率だったので、ある程度の効果があったものと考ええる。

**後期高齢者医療事業**

・高齢者の健康を守る取組について

・保険料の還付金が生じる主な理由について

**介護保険事業**

・介護認定に要する日数について

・介護予防の取組について

**市場事業**

・市場施設の整備と修繕について

・カツオ船の水揚げが減少した理由について

**第三セクター等改革推進債償還事業**

・三セク債の償還金の残高について

# 企業会計

## 病院事業

・発熱外来の受診者数について

・リモート面会の利用状況について

**質問** 国・県からの補助金等で行った新型コロナウイルス感染症対応を伺う。

**答弁** LAMP法による検査を導入するための機器や、個人防護具、フィルター付きパーテーションなどを購入した。

**水道事業**

・老朽管更新の実施箇所について

・水道料金改定について

**公共下水道事業**

・公共下水道への接続促進の取組について

・コンセッション方式導入に向けての進捗状況について

賛成

# 討論

反対

## 反対討論

○石橋むつみ委員

就学援助制度において、学用品費と新入学学用品費の支給額を国基準にすることを求める。また、援助対象の生活保護基準を横須賀市と同じにすることを求める。

## 賛成討論

○出口正雄委員

歳入増加策で市税の徴収率向上などに取り組み、歳出では、新型コロナウイルス感染症拡大で低迷する市内経済と市民生活の支援をしたことが評価できる。

○鈴木敏史委員

ふるさと納税の取組では、前年度比で約二五％の歳入増加が図られた。教育行政では、教育ICT環境の充実促進で児童・生徒の学習環境が向上したことが評価できる。

# 本会議における討論

議案第48号 令和2年度三浦市一般会計決算の認定について



## 反対討論

日本共産党 石橋むつみ

二年度は、新型コロナウイルス感染症に対応し、三十数件の事業が行われた。市は、今後も市民や現場の声をつかみ、住民福祉の向上のため、役割を果たし続けることを求める。  
三浦市の子供の医療費無料化は中学校を卒業するまでだが、全国的には高校卒業までを無料とするところ

## 賛成討論

自由民主党 神田 眞司

不断の努力で歳入確保策と歳出削減策に取り組み市長の姿勢を高く評価する。三浦みらい創生プランの重要施策の推進には効率的に予算を投入し、着実な成果を生んでいる。  
新型コロナウイルスに翻弄された年だったが、対策の具現化に向けて国や県の

## 賛成討論

公明・みうらクラブ 溝川 幸二

歳入増加策では、ふるさと納税の取組により寄附金額の増加が図られ、地域経済の活性化に寄与できる取組がされたことは評価できる。

歳出削減策では、市民との協働による「ごみダイエット大作戦」に加え、横須賀市とのごみ処理広域化により大きな削減効果が出せたことを評価

が広がっている。子育て支援策として、高校卒業まで年齢の引上げが必要である。

地域経済と市民の暮らしはひっ迫している。市も厳しい状況だが、的確な財政推計を行い、公正で民主的な市民本位の行財政運営で、市民の暮らしと営業を守ることを求める。



補助金などを有効に活用し、市民のための対策がとられた。

吉田市長がリーダーシップを発揮し、依然収束が見えない新型コロナウイルス対策を徹底して市民の命と健康を守りながら、三浦の魅力発信してさらなる観光客誘致を進め、吉田市政の五期目が「市民の役に立った」と評価されることを願う。

する。

コロナ禍で、感染予防対策や、疲弊している市内経済の再興など、待ったなしの重要な取組が求められている。様々な課題が山積しているが、吉田市長が先頭に立ち、安心・安全と生活の向上を図られる市政運営を期待する。



## 政治倫理審査会

審査経過の報告

現在設置されている三浦市議会議員政治倫理審査会（対象：藤田 昇議員）の審査概要を、前号に続いて報告します。



### 第七回（九月十五日）

○政治倫理基準違反の行為の存否について

藤田議員に出席を求めて聴取を行いました。

第五回、第六回審査会での発言内容の確認などを行いました。

### 第八回（十月七日）

○政治倫理基準違反の行為の存否について

前回に続いて、藤田議員に出席を求めて聴取を行いました。

聴取の途中で終了したため、次回も引き続き行うことにしました。

◎次回の開催日時は未定です。（十月二十二日現在）決まり次第、三浦市議会ウェブサイト上でお知らせします。

また、開催ごとの会議録や資料、議員政治倫理条例は、「政治倫理審査会」

のページに掲載しています。



QRコードから掲載ページへ



# 本会議での議案等の審議結果

## 《全員賛成で議決した議案》

### 【議案】

- 第38号 令和2年度三浦市病院事業会計決算の認定について
- 第39号 令和2年度三浦市水道事業会計決算の認定について
- 第46号 三浦市予防接種健康被害調査委員会条例
- 第47号 字の区域の変更について
- 第51号 令和2年度三浦市介護保険事業特別会計決算の認定について
- 第52号 令和2年度三浦市市場事業特別会計決算の認定について
- 第54号 令和3年度三浦市一般会計補正予算（第5号）
- 第55号 令和3年度三浦市市場事業特別会計補正予算（第1号）
- 第56号 三浦市二町谷浮棧橋条例
- 第57号 指定管理者の指定について（二町谷浮棧橋第1号及び二町谷浮棧橋第2号）
- 第58号 令和3年度三浦市一般会計補正予算（第6号）
- 第59号 教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて
- 第60号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 第61号 公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて

### 【意見書案】

- 第2号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し、地方税財源の充実を求める意見書

## 《賛否が分かれた議案》 ○賛成 ●反対

※ 議長は表決に加わらない

番 号	件 名	審議結果	自由民主党					公明・みうらクラブ			日本共産党		無所属	
			草間道治	千田征志	長島満理子	出口正雄	神田眞弓	出口眞琴	溝川幸二	鈴木敏史	藤田昇	石橋むつみ	小林直樹	蓮本一朗
【議案】 第40号	令和2年度三浦市公共下水道事業会計資本金の額の減少及び決算の認定について	可決・認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第48号	令和2年度三浦市一般会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第49号	令和2年度三浦市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	認定	※	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第50号	令和2年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第53号	令和2年度三浦市第三セクター等改革推進債償還事業特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○



## 新型コロナウイルス感染症

ワクチン接種・人流抑制・経済支援・学校

自由民主党 出口 眞琴

**質問** 市民への感染拡大防止の周知啓発について伺う。

**保健福祉部長** 鎌倉保健福祉事務所三崎センターからの情報については市ホームページや広報紙、三浦市公式LINEで感染拡大防止の啓発に役立っている。



新型コロナウイルス

**質問** 市内の妊娠中の方へのワクチン優先接種の状況を伺う。

**保健福祉部長** 妊婦百八人の方に通知を発送し、九月三日時点で約四十人の予約があり、うち十六人がパートナーの予約と伺っている。

同っている。



駐車場閉鎖（三浦海岸）

**質問** 三浦市での不要不急の外出自粛の取組について伺う。

**市長** 人混みを避けることをホームページや広報紙「三浦市民」に掲載し、消防署のデジタルサイネージや防災行政無線、LINEなどを用いて啓発した。

**質問** 市内の県が所有する駐車場の閉鎖について伺う。

**市長** 三浦海岸地区、城ヶ島公園など城ヶ島地区、和田地区の県有地駐車場が閉鎖した。人の流れを極力抑制する観点から県に閉鎖を要請した。

ケ島公園など城ヶ島地区、和田地区の県有地駐車場が閉鎖した。人の流れを極力抑制する観点から県に閉鎖を要請した。

**質問** 今年の海水浴場の突然の休場について伺う。

**経済部長** 感染急拡大の懸念から、神奈川県から県内の海水浴場を休場する要請があり休場した。

**質問** 感染急拡大防止を各事業者が理解し休場要請に応じたが、各事業者の支援について伺う。

**経済部長** 休業要請に応じた海の家の事業者に設備投資の経費の一部を交付金として支給すること現在検討している。



三浦の海水浴場

**質問** 子供たちの感染も増加しているが、対応策として小中学校のオンライン配信による授業について伺う。

**教育長** 学校の授業の黒板の映像や教室の音声をライブ配信し、小学校では国語や算数の教科を中心に、中学校では教科を絞らずに内容によって配信している。



分散登校

**質問** 病院の発熱外来での、現在までの対応について伺う。

**病院事務局長** 発熱のある方や濃厚接触の可能性がある方は発熱外来において受診して、検査を行わせてから診療につなげている。ルートにおいてもほかの患者との接触を避けている状況である。

同っている。



三浦市立病院

PCR検査の中でNEAR法というものを新たに導入し、従来の方法より検査結果が早く出る事で診療につなげたり、鎌倉保健福祉事務所三崎センターに迅速に報告している。

**質問** 神奈川県モデルで重点医療機関協力病院となり、入院病床一床と疑似症患者用として四床の体制をとったが、その後の経緯について伺う。

**病院事務局長** 新型コロナウイルス感染症対応の入院病床を五床に増床した。疑似症患者対応病床はそのまま四床の体制を継続している。

**質問** ごみの収集作業員の感染対策について伺う。

**都市環境部長** マスクの着用や、手洗い、うがいの徹底、収集車両や職場の消毒、作業中の対策として、収集車両がごみ袋を巻き込む際には袋が破裂してごみや汚水が飛散することがあるため、車両の側面に立つことを指導している。



ごみの収集車

**質問** 感染症に係る廃棄物対策として自宅療養者のごみの出し方を伺う。

**都市環境部長** ごみステーションに出す際には、基本的にはビニール袋に入れ、密封して出してください。ただ、市ホームページで周知を行っている。



# まちづくり条例について

マンホールカード、下水道コンセッション

公明・みづらクラブ 溝川 幸二

**質問** まちづくり条例について概要を伺う。

**都市環境部長** 三浦市まちづくり条例は、開発区域面積が五百平方メートル以上の開発行為や、高さが十二メートルを超える建築物の建築等の一定規模以上の開発行為や建築行為を手続の対象となる開発事業として定めている。

**質問** 土地の面積五百平方メートルを僅かに下回るよう意図的に土地を分割して段階的に開発行為を行おうとする、言わば条例逃れが起こっている。こういった事例について、市では把握しているか。

**都市環境部長** 三浦市まちづくり条例の適用規模に満たない事業があることについては市としても把握している。一体的な

土地利用をしている連続した開発行為と判断される場合には、直ちに工事その他の行為の停止を命じ、当該違反を是正するために必要な措置を命じるようにしている。

**質問** 法令、条例の抜け道は幾らでもある。抜け道を塞ぐことが自治体の使命であると考えている。まちづくり条例で定められた五百平方メートル未満の開発事業であったとしても、まちづくり条例の根底にあるまちづくりの精神は平米数に限らない。強力な行政指導が必要だが、市の見解を伺う。

**都市環境部長** 適用規模に満たない開発事業については、三浦市まちづくり条例に基づく事前手続や整備基準の遵守等を強制することはできないと

考えている。しかし、適用規模に満たない開発事業でも、三浦市まちづくり条例の趣旨を事業者に説明した上で、良好なまちづくりの観点から、近隣住民や新住民となる方々が快適に生活できるように、丁寧な近隣説明や条例の整備基準に準じた事業の実施等への協力を引き続き求めていく。

**要望** 今後も、まちづくり条例の基本理念を曲げることなく、強い意志を持って指導を行っていただきたい。



三浦市まちづくり条例では、土地面積500㎡以上の開発行為に適用される

## マンホールカード・下水道コンセッション方式

**質問** マンホールカードは、人気を得たが、当時の状況について伺う。

**下水道担当部長** マンホールカードは四月末から配布を行い、約一週間で予定数量の二千枚の配布を終了した。近隣地方公共団体の実績を参考に、

年間で二千枚の配布を見込んでいたのですが、その反響の大きさに驚いている。

**質問** マンホールカードの今後の配布予定を伺う。

**下水道担当部長** 配布再開に向け、カードの増刷を行った。新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、配布は一時停止しているが、感染状況を見つつ、配布再開を検討し、市のHPで情報を発信していく。

**質問** コンセッション方式の進捗状況を伺う。

**下水道担当部長** 七月三十日にコンセッション事業の募集要項等を公表し、東部浄化センターや金田中継センターの現地見学

会、募集要項等に関するウェブ説明会を行い、八月二十六日から三日間、民間事業者十数社との個別対話を実施。昨年及び今年四月の個別対話と比べ、下水道事業や任意事業などに対する、より具体的な質問となり、民間事業者側の参画検討が進んでいると強く感じた。

**質問** 三浦市のコンセッション方式は日本初の部分を含んでいると伺っているが、改めて特徴を。

**市長** 処理場、ポンプ場、管路施設の改築、維持管理に加え、管路施設の増築を含めた日本初の事例となる。民間事業者側の関心は非常に大きいものと承知している。

**質問** 民間事業者側の参画検討が進んでいることを強く感じているというが、事業者提案を引き出す工夫について伺う。

**市長** 改築費用の事業者負担を求めないことや、運営権対価の支払い方法に自由度を持たせるなど、

短期的な資金調達の回避策を盛り込み、民間事業者が参画しやすい工夫をしている。

**質問** 今後の予定を伺う。

**市長** 十月末に民間事業者からの参加表明を受け付け、資格審査を行う。令和四年五月には提案審査書類を受け付け、審議会でご審議を頂き、令和四年七月には優先交渉権者を決定し、令和五年四月の事業開始に向け進めていく予定である。いよいよ公募が開始されたが、事業開始に向け、スピード感を持ちつつ引き続き着実に進めるとともに、本事業の目的に合致した実効性の高い事業者提案がなされることを期待している。



年間2000枚配布を見込んでいたマンホールカード



# 学校教育ビジョンの見直し

観光振興、城山地区の土地利用、新型コロナウイルス

日本共産党 小林 直樹

## 学校教育ビジョン

**質問** 主な内容は、市内

の八小学校を五校廃校にして三校にしてしまう

「二中学校区一小学校」、

そして、小学校と中学校が離れている「小中一貫教育」の二つである。

しかし、学校教育ビジョンの主な内容の二つを見直すことになった。

市長は、見直すに当たっては市民の皆さんの声を丁寧に聞きながら慎重に検討する、アンケートを取りまとめて課題への対応策を示していきたいと述べている。

いつ頃、アンケートを実施するのか？

**教育部長** 十月中旬くらいには実施したいと考え準備を進めてきたが、緊急事態宣言が発出されており、地域協議会の開催

が見送られてしまっている。アンケートの設問内容などは、地域協議会の意見を聞いた上で決定し、実施したい。

**質問** アンケートは、児童、保護者、教員、地域住民を対象にすべきだが、どのように考えているのか？

**教育部長** 地域協議会などの意見を伺い、実施対象を決定する。

**質問** 小規模校のメリットは、一人ひとりの学習状況が把握できる、意見や感想を発表できる機会が多くなるなど、きめ細やかな教育が可能だということである。

今後も、小規模校のメリットを生かした教育を行うことが必要だが、どのように考えているのか？

**教育部長** 各学校と協議し優先順位を付けて、改修対応している状況である。

**教育長** 三浦市の教職員は、いかに子どもたちの学びを充実させ、教育の質を高めるかについて工夫と努力を続けてきた。

今後、継続していけるように教育委員会としてサポートしていきたい。

**質問** 小中学校の校舎や体育館の雨漏りの改修は、どのように考えているのか？

**教育部長** 各学校と協議し優先順位を付けて、改修対応している状況である。

**質問** 例えば、金属部分の腐食により危険な状態になっている場合などは、早急に改修しなければならぬが、どのように考えているのか？

**教育部長** 非常に緊急性の高い危険箇所が発見された場合は、緊急修繕

などにより対処している。



三浦市立名向小学校

## 城山地区の土地利用

**質問** 城山地区の利活用方針は、観光拠点の形成を目指すものである。

三浦地所株式会社が契約候補者として決定されたが、どのような提案だったのか？

**特定事業担当部長** グラウンディングやワーケーションといった関係人口の創出、滞在時間の延長に役立つ事業内容が提案された。

**質問** 土地の契約形態は、賃貸借なのか、購入なのか？

**特定事業担当部長** 事業用地全体を一括で購入する計画である。

**質問** 計画では、令和八年四月に市役所を引橋地区に移転する予定である。市役所の移転は市民生活に大きく影響する。市役所の移転後も、三崎地区に行政の窓口である出張所機能が必要だが、どのように考えているのか？

**市長** 出張所の機能については、コミュニティ機能とあわせて検討していきたい。

**要望** 市役所が移転した場合、市民センターのような施設が必要である。



三浦市役所 本館

## 観光まちづくり

**質問** 油壺マリンパーク閉館後は、早い段階で跡地利用について関係機関と協議していくことが重要だが、どのように考えているのか？

**経済部長** 油壺地区の観光振興については、京急グループとの連携が非常に重要であると考えている。京急グループとの官民連携により進めていきたいと考えている。

**質問** 三崎地区の課題として駐車場対策があるが、どのような検討がされているのか？

**経済部長** 今年度、新たな駐車スペースの候補地について検討する予定である。

## 新型コロナウイルス対策

**質問** 軽症や無症状の方が自宅療養しているケースもあると思うが、電話連絡や訪問診療などの対応はできているのか？

**保健福祉部長** 地域の医師会と訪問看護ステーションが連携して、悪化リスクのある方への対応に取り組んでいる。

看護師が毎日電話連絡して健康観察を行い、入院が必要と医師が判断した場合は、入院調整を行っている。

# 空き家対策

ジェンダーの平等



無所属 寺田 一樹

## 空き家対策

**質問** 「空家等対策の推進に関する特別措置法」では、そのまま放置すれば崩壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態などになった空き家を特定空家等と定義している。市内にも、特定空家等に該当しそうな空き家が散見されるが、特定空家等に指定された空き家は一件も無い。それはなぜなのか尋ねる。



特定空家のイメージ

**都市環境部長** 特定空家等に指定する前段階における所有者等に対する指導に重点を置き、通知や電話連絡にとどまらず、自宅の直接訪問などを行い、より適切な管理についての指導を粘り強く行うことを方針としているため、特定空家等の指定の実績はない。

**質問** 特定空家等に指定されると、固定資産税及び都市計画税の住宅用地の特例から除外され、空き家所有者の税負担は増すこととなり、そのことが空き家の解体を進めづらきつけにもなる。近隣住民の生活環境を守るためには、指導しても改善が図られない空き家については、特定空家等に指定することも必要だと考えるが、行政としての考えを伺う。

**質問** 特定空家等に指定されると、固定資産税及び都市計画税の住宅用地の特例から除外され、空き家所有者の税負担は増すこととなり、そのことが空き家の解体を進めづらきつけにもなる。近隣住民の生活環境を守るためには、指導しても改善が図られない空き家については、特定空家等に指定することも必要だと考えるが、行政としての考えを伺う。

**市長** 周囲の建築物や通行者に対する悪影響や危険性に応じて、特定空家等の指定も必要と認識している。特定空家等の指定や、指定後の助言、指導、勧告について、三浦市空家等対策協議会の意見を聞きながら慎重に進めていく。

**都市環境部長** 空き家に対する補助金は、空き家の減少や利活用に効果があると認識している。国庫補助金の活用を含めて検討しており、引き続き検討に取り組んでいく。

**質問** 最近では、空き家の利活用に取り組んでいる民間の団体も現れてきている。民間と連携を図ることで空き家の利活用も加速度を増して進んでいくと考えられるが、民間との連携はどのように進んでいるのか尋ねる。



民間団体の活動風景

**ジェンダーの平等**

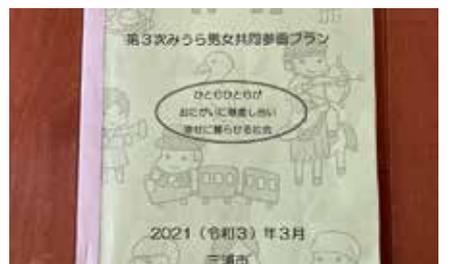
**質問** 今年三月に策定された第3次みうら男女共同参画プランには、ジェンダー平等の実現を目指すことが示されているが、前プランの市民認知度は七%と低かった。市民への本プランの浸透が必須だが、どのように浸透させていくのか尋ねる。

**市民部長** 広報紙「三浦市民」にニューズ等を定期的に掲載し、男女共同参画プランという言葉が目につく機会を増やすとともに、市民向け講座を継続して実施していく。

**質問** 厚生労働省のデータからは、児童がいる世帯の中で、ひとり親世帯の所得が極端に低くなっていることがわかる。中でも母子世帯は、父子世帯の半分の収入しか得られていない。母子世帯の貧困、ひとり親世帯の貧困はコロナ禍で急増しているようだ。本市では、どんな支援策を講じているのか尋ねる。

**保健福祉部長** 児童扶養手当の支給や医療費助成に加え、新型コロナウイルス感染症拡大に伴うひとり親世帯臨時特別給付金や子育て世帯生活支援特別給付金の支給を行ってきた。母子父子寡婦福祉資金貸付制度の案内や手続き、教育訓練講座を受講した場合の受講費用の助成なども行っている。

**要諦** 国などから示されている制度ばかりで、市独自の支援策に寂しさを感じる。市独自に家賃助成制度を実施する自治体もある。「あつたかいまち三浦」を実感できるような主体性のある支援策を展開してほしい。



第3次みうら男女共同参画プラン

# 安心できるまち

経済振興・通学路安全対策

自由民主党 千田 征志



**質問** 三崎中学校跡地等城山地区の利活用に向けたこれまでの取り組み状況について伺う。

**市長** 利活用に向けた具体的な取り組みのスタートは、平成二十七年年度の事業化可能性調査である。

この調査からは、具体的な活用の可能性を見出す事が出来なかったが、その後も業務委託等により、継続して活用の可能性を検討してきた。

平成三十年度には、国土交通省の地域フラットフォーム形成支援に採択され、令和二年度までの三年間、産官学金で構成する地域フラットフォームによる官民対話等により活用可能性の検討を深めた。

これらの検討の結果により、事業者募集が可能

な状況が整ったと判断し、令和三年六月に事業者募集要項を公表したものである。

**質問** 令和三年六月に開始した事業者募集について、現在の状況を伺う。

**特定事業担当部長** 令和三年六月の事業者募集の結果、二事業者から事業の提案書を受け付けた。

提案書に基づいて、八月二十日にプレゼンテーション及びヒアリング審査を行い、契約候補者は三浦地所株式会社となった。

なお、もう一社は次点候補者としている。

**質問** 契約候補者を決定し、今後事業者との間で利活用に向けた協議を行うっていくと考えるが、今後の課題を伺う。

**特定事業担当部長** 今後、



三崎中学校跡地

基本協定の締結に向けて契約候補者との協議を行う予定である。

現時点で、三浦市が行わなければならない事は、今年度から開始している事業用地における公図と現況のかい離を解消することである。

令和四年度までに解消する予定であり、契約候補者の事業が順調に開始できるよう注力して取り組んでいる。



三崎高等学校跡地

**質問** 三崎高等学校跡地の利活用について、現在の状況について、現在の引橋B二地区造成工事の状況を伺う。

**特定事業担当部長** 令和三年第二回定例会に於いて、建設発生土の搬出元の工事遅れにより造成工事の工期延期を報告した。

又、工事遅れに影響を受ける盛土工事については、八月末時点の進捗は約二割であるが、現契約内容には他に、樹木伐採や調整池工事、排水施設工事等が含まれ、工事全体の進捗は八割である。

**質問** 市役所移転について、三崎高等学校跡地は移転候補地と認識しているが如何か。

**市長** おっしゃる通り、引橋B二地区を市役所移

転候補地として検討を進めている。導入機能・施設としては、市役所の他、図書館や市民交流拠点整備事業等コンセプトに沿った民間施設に加え、新たに福祉的機能を持ち合わせる事も追加し検討を進めている。

市役所移転時期としては、旧三崎中学校跡地等城山地区事業用地利活用プロジェクトとの関連も考慮し、令和八年四月を目途に施設整備等を進めていきたいと考えている。

**質問** 三年に一度行われる通学路合同点検を開始した経緯や目的を伺う。

**教育部長** 平成二十五年十二月、国から出された通達「通学路の交通安全の確保に向けた着実かつ効果的な取組の推進について」を受け、緊急合同点検を実施した。

その後も継続し点検を実施する為、平成二十七年三月に三浦市独自に「三浦市通学路交通安全対策プログラム」を策定

した。

**質問** 点検で出た課題を伺う。

**教育部長** 新たに商業施設や住宅が増えた事もあり、前回点検時には挙げられなかった箇所も学校から追加されるケースが見られた。又、七月の千葉県八街市の事故を受け、

点検の視点（幹線道路の抜け道や大型車両の進入の多い箇所、過去ヒヤリハット事例があった箇所）が新たに追加され、その視点からも点検を行っている。

現在、点検結果については精査中である。

**質問** 今回の点検で崖崩れの可能性のある箇所は挙げられているのか伺う。

**教育部長** 現在、関係機関と対策箇所をまとめていくところではあるが、崖崩れや倒木の恐れがある危険箇所として、三崎地区で二箇所、南下浦地区で五箇所、初声地区で二箇所事前報告があった。



# 子育て賃貸住宅等整備事業

移住・定住促進、企業版ふるさと納税の活用

公明・みうらクラブ 藤田 昇

## 質問 移住定住促進事業

今後の事業展開について、移住定住冊子などによって三浦市を知ってもらい、その上で、今年度どのような事業展開を考えているのか伺う。

## 政策部長

移住定住冊子を作成して、新たな展開として、新型コロナウイルスの感染状況も踏まえて、実施内容を検討している。内容は、移住促進講座を委託事業で開始することを検討している。

## 質問

コロナ禍で移住相談窓口での相談件数に変化があるのか、現在の状況について伺う。

## 政策部長

移住窓口での相談件数については、令和元年度は全体で百一件、令和二年度は百三十六件、令和三年度は八月二十日現在、百件となっております。

特にメールでの相談というのが増えている状況。

## 質問

次に、リモートワークについて、新型コロナウイルス感染症拡大やそれに伴うテレワークの普及等を受け、人々の地方移住に対する関心は高まっている。特に地方移住、就業を拡大する可能性のある行動変容、テレワークが広がっている。そこで、このようなコロナ禍で働き方の変化が見られる中で、リモートワークをターゲットに、不動産業者と連携して居住物件やシェアオフィスの情報を提供して三浦市への移住をPRすることが最も効果的であると考えるが、市の考えを伺う。

## 政策部長

リモートワークをターゲットとすることは非常に効果的であると

と考えている。令和二年度に開催した三浦市単

## 質問

独の移住セミナーでは、三浦市に移住したリモートワークの方が、コロナ禍移住後の三浦市でのリモートワークの実践ノウハウをテーマに講演。また、不動産事業者との連携も必要と考えており、居住物件等の情報等は、現在、不動産事業者から提供される情報と空き家バンクの物件を移住相談者の希望に応じて提供している。

## 質問

企業版ふるさと納税について、企業は国の認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して寄附を行った場合に、損金算入による軽減効果、寄附金額の約三割と併せて寄附金額の六割がさらに法人関係税から税額控除され、企業は最大で寄附額の約九割が軽減される。そこで、今後の活用及び周知について、企業版ふるさと納税については三浦市のホームページに掲載して周知を図っているが、他の自治体では、事業を特定して寄附を募ったり、企業訪問を行うなどの結果、ご寄附を頂き、事業を実施できた例がある。山形県の南陽市では、コロナ禍で生活に影響を受けている同市出身の学生を支援するため、企業版ふるさと納税を活用した食の支援事業を始めている。三浦市においても、移

## 質問 企業版ふるさと納税

住定住促進事業を展開するなど、三浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略の事業を推進していくため、企業版ふるさと納税の活用は大変有効であると考えているが、市長の考えを伺う。

## 市長

三浦市が事業を進めていく上で民間企業が応援していただけるといことは、財源確保という面からも大変有効である。今後も、事業内容等にに応じて、民間事業者から応援していただけるよう働きかけていきたいと考えている。

## 質問

子育て賃貸住宅等整備事業の推進について、民間事業者の四グループから参加表明があったということだが、募集要項等の公表から提案書提出まで民間事業者側に一定の期間を設けてあり、よりよい提案がなされるようなスケジュールングであると思われる。今後はスケジュールに基づき進められていくと思われる

が、事業目的達成に向けた事業の推進について改めて市長の考えを伺う。

## 市長

本事業は、三浦市への新しい人の流れをつくる取組として、民間事業者の創意工夫が大きく発揮され、南下浦市民センター周辺が魅力あるエリアとなることを期待している。本市における初めてのPFI事業であり、今後も慎重かつスピード感を持って事業を進めてまいりたいと思っている。民間事業者が応募できるような魅力ある事業として、今後にも影響がある、そういう重要な事業として検討していきたいと思

## 質問

三浦市において、移



移住冊子・MIURA



子育て賃貸住宅等整備完成予想図

# 防災対策

城ヶ島西部地区再整備

自由民主党 出口 正雄



**質問** 日本各地で大雨による甚大な被害が発生している。七月には熱海市の住宅街で大規模な土石流が発生して、大災害になった。連日の大雨では、熱海市のほかにも日本各地で土石流や土砂崩れ、河川の氾濫など、数多くの人的被害が発生した。

気象庁は危険な場所から高齢者等の避難や全員避難などの行動を始めるよう促したが、大きな被害を受けた自治体の中には首長が避難指示を発令しない所も複数あった。

近年の温暖化による大雨や台風などでは、空振りを恐れず、早めの避難指示と避難所開設が求められる。三浦市の避難指示の判断基準を聞く。

また、高齢者や障害者の送迎サービスを行って

いる二法人と災害時における要配慮者の移送協力に関する協定を締結したが、具体的な運用を聞く。

**市長** 令和三年五月に内閣府が発表したガイドラインに基づき、災害が発生するおそれが高く、危険な場所から全員避難が必要な場合は避難指示を発令することとしている。

全員避難が必要な場合とは、三浦市に土砂災害警戒情報が発表された場合、土砂災害の危険度分布で域内に非常に危険な地域が確認された場合、三浦市に高潮警報または高潮特別警報が発表された場合を判断基準としている。

ただし、避難指示の発令が必要になる状況が、夜間など避難が困難になる時間帯に予想される場合は、安全に避難できるタイミングで発令する。

**防災担当部長** 要配慮者の移送協力協定は、地震、風水害などの災害が発生または発生するおそれがある場合に、市の要請に基づき要配慮者等を避難先へ迅速、適切に移送することを目的としている。

協定には、相手方の二法人の保有車両及び車内の酸素投与などの資機材の活用が含まれ、災害時の移送手段として非常に心強いものである。



崩壊防止工事がされた急傾斜地

城ヶ島西部地区再整備

**質問** 城ヶ島では、城ヶ島区や城ヶ島の主要三団体により構成する城ヶ島地区活性化協議会と県・市が連携し、新たな観光の核づくりの取組が進められてきた。

具体的には、海上いけす釣堀を皮切りに、城ヶ島西部地区の整備方針と景観メニューをまとめた城ヶ島西部地区景観ビジョンの策定、城ヶ島南部のハイキングコース整備、神奈川県知事、三浦市長、城ヶ島区長、京浜急行電鉄社長の四者による、城ヶ島西部地区再整備方針決定の共同記者会見が行われた。

この方針では、城ヶ島区と京急電鉄が城ヶ島京急ホテルの建て替えを含めた一体的な整備方針を検討し、県・市は再整備をきっかけに地域振興策に必要な支援を実施するとされ、令和元年九月には城ヶ島区が城ヶ島西部地区まちづくり基本構想

公表、令和三年五月に京急電鉄が（仮称）ふふ城ヶ島開業に向け、基本協定締結を発表した。

基本構想には、通称灯台通りの拡幅整備など、実現に必要な整備メニューがあるが、商店街の店主らにより市道拡幅による不安や営業への支障の懸念を示す陳情書が提出されたが、この対応を聞く。また、京浜急行電鉄が共同で計画しているホテルの効果を確認。

携しながら進めている。城ヶ島西部地区再整備は基本構想を基に、市が地区計画の素案と市道拡幅線形案を作成し、本年六月に地元観光協会や地区計画区域内の土地建物所有者に説明した。

陳情者が懸念している点は、説明会でもご意見をいただいております、今後、関係者の皆様のご意見を伺い、詳細設計を進めていきたい。また、協議会の構成団体とも情報を共有し、連携しながら再整備を進めていく。



旧城ヶ島京急ホテル

**市長** おっしゃる通り、城ヶ島における新たな観光の核づくりの取組は、城ヶ島区、城ヶ島地区活性化協議会と県・市が連

携しながら進めている。城ヶ島西部地区再整備は基本構想を基に、市が地区計画の素案と市道拡幅線形案を作成し、本年六月に地元観光協会や地区計画区域内の土地建物所有者に説明した。陳情者が懸念している点は、説明会でもご意見をいただいております、今後、関係者の皆様のご意見を伺い、詳細設計を進めていきたい。また、協議会の構成団体とも情報を共有し、連携しながら再整備を進めていく。京浜急行電鉄からは、知名度や人気の高いホテルを誘致することが城ヶ島の魅力やブランド向上に不可欠だと判断し、日本屈指の観光地で高級温泉旅館を展開しているヒューリックと共同でホテルを計画していると説明を受けた。誘客対象の拡大や話題性もあり、活性化につながるかと考え、地元のご協力のもとに積極的に取り組んでいく。

# 12月定例会日程案

令和3年第4回定例会は、次の日程により開かれる予定です。

月日	曜日	会議名等
11月22日	月	招集告示
25日	木	議会運営委員会（日程・審議方法等決定）
30日	火	本会議（一般質問）
12月1日	水	本会議（一般質問）
2日	木	本会議（一般質問）
3日	金	総務経済常任委員会
6日	月	都市厚生常任委員会
9日	木	本会議（委員長報告・採決）



## お家でも議会が見学できます！

本会議の映像をユーチューブで配信しています。  
スマートフォンでも視聴できますので、ぜひ、議会の様子をご覧ください。

三浦市議会  
ウェブサイトは  
こちらから⇒



議員の紹介や会議録など、議会に関する情報がご覧になれます。

※今定例会で審査する請願・陳情の提出期限は11月24日(水)です。

## 活動報告

### ICTに関する 検討委員会



タブレット端末導入による議会内のICT（情報通信技術）の活用について検討を進めるため、八月二十三日にペーパーレス会議システムのデモンストラレーションを受けました。

今回はICTに関する検討委員のほか、希望する議員の参加も募った結果、全議員が参加しました。

その後、九月に二回検討委員会を開催し、どのシステムが本市議会に適しているか、また、タブレット端末の機種や通信方式等についても意見を出し合い、一定の方向性を出すことができました。

実際の会議資料を使用し操作体験を行いました



全国の議会でも多く採用されている二社を選定し、二回に分ける形で担当の方から説明を受けながら

## 議会報告会



三浦市議会では、市民の皆さんに議会の活動をお知らせする議会報告会を毎年度一回開催しています。

例年は市内三地区で行っていますが、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、会場を一カ所に変更して検討を進めることとなりました。

今後の感染状況等を注視しながら、開催に向けて引き続き検討していきます。

## 広告募集

みうら議会だよりへ広告を掲載しませんか？

掲載料など詳しくは、議会ウェブサイトをご覧ください。



# 新型コロナウイルスに対する議会の対応

議会災害等対策本部の活動等、新型コロナウイルス感染症に対する議会の対応を報告します。

## 八月二十三日

◎市の対応について報告を受けた。

- ・海水浴場の休場、公共施設の閉鎖、小中学校の対応、市役所の感染防止対策、新型コロナウイルススワクチン接種の実施状況、庁舎防災避難訓練について

◎九月定例会の運営方法等について協議した。

- ・議員及び傍聴者等来訪者は、体温を計測し、三十七・五度以上の場合には帰宅を求め

◎委員会の行政視察及び須坂市議会との姉妹都市交流について、年内は行わず、年度内の実施を検討することを決定した。

◎地方税財源の充実を求める意見書を国に提出する方向で、協議を進めることを決定した。

## 九月一日

◎九月定例会の運営方法等について決定した。

- ・一般質問の質問者の数は、各党派等の約半数の計七人とする

◎九月二十九日  
◎市の対応について報告を受けた。

- ・決算審査特別委員会は、あらかじめ進行の日程を決め、事前に質疑項目を提出する

- ・新型コロナウイルススワクチンの年代別接種件数及び今後の接種の見通しについて

◎次回定例会に向けて対応を協議した。

- ・引き続き災害等対策本部を設置し、定例会前に対応について協議をする



本会議の様子  
(間隔をあけて着席しています)

## 可決した意見書（概要）

### コロナ禍による厳しい財政状況に対処し、地方税財源の充実を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、地方財政は引き続き巨額の財源不足が見込まれる。よって、国においては、次の事項を確実に実現するよう強く要望する。

- ・令和4年度から6年度までの地方交付税等については、令和3年度の地方財政計画と同水準を確保するとしているが、急速な高齢化により社会保障に関する経費が毎年度増大している現状を踏まえ、他の歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。（ほか4項目）

意見書の全文  
はこちらから



〈提出先〉 内閣総理大臣／総務大臣／財務大臣ほか

### 編集委員コラム

編集委員

蓮本 一朗

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進められていますが、希望者全員の接種が完了するには至っておりません。その一方で緊急事態宣言が九月末に解除され、外出が多くなり、観光客も増えてきました。密を回避するのは難しいですが、基本（マスク、手洗い、うがい）を守っていきましょう。

新型コロナウイルスが終息し、市内の各事業が復活することを祈念しています。

### 議会だより

#### 編集委員会

委員長 草間 道治  
副委員長 藤田 昇  
委員 蓮本 一朗  
溝川 幸二  
石橋むつみ  
出口 正雄